

四街道市青少年育成センターだより

一期一会

令和 7 年 6 月 1 1 日 第 2 9 8 号
四 街 道 市 青 少 年 育 成 セ ン タ ー 発 行
四 街 道 市 鹿 渡 2 0 0 1 - 1 1
電 話 0 4 3 - 4 2 1 - 7 8 6 7
F A X 0 4 3 - 4 2 1 - 7 8 7 1
E-mail yseishonen@city.yotsukaido.chiba.jp

【安心できる環境をつくっていくこと】

四 街 道 市 青 少 年 育 成 セ ン タ ー
スクールソーシャルワーカー 高野 智史

今年の4月からスクールソーシャルワーカー(S S W)として青少年育成センターで勤務をしています。直近では、青年期の障害のある方々の就労支援や生活支援をしたり、放課後等デイサービスなども運営している福祉施設で仕事をしたりしていました。様々な障害のある方がその施設を利用していました。その仕事を通して、やはり少年期にどのように過ごしてきたかはとても大きな影響があるということを何度も感じてきました。

障害といっても、少年期でも青年期でも人それぞれではありますが、特に青年期の場合には凝り固まった二次障害の影響が大きいケースにとっても悩むことがありました。二次障害とは、たとえば発達障害などの一次障害がある方が、その影響から周囲と良好な関係を築くことができずに、心に傷を負って、精神疾患になったり、これまで積み重ねてきた対人関係の悪循環から問題となるような行動を繰り返すようになっていたりする状況などを指します。少年期に、発達の偏りなどが背景にあるが故の行動が、周囲から理解されずに、傷つきながら大人になることで、より固く複雑な状況が生まれてしまうことが実際に多くあります。一方で、放課後等デイサービスで関わる発達障害などの子どもたちの場合、程度や状況はそれぞれでも、青年期から支援の関わりがスタートする場合に比べ、より早く変化を感じたり、周囲との関係性を良い方向に軌道修正(本人が変わるだけでなく周囲の変化を含む)をできたりするケースが多くあります。そのため、少年期のうちから各児の特性を理解することに努め、共に歩んでくれる周囲の存在がとても大切だと感じます。

上記のような周囲の存在の大切さは、障害を背景にしたケースばかりではないと思っています。勤めていた施設以外でも実際に私が支援に関わっていた方の中には、発達障害などがあるという背景で支援をしていたが、医療機関などと連携して見直していくうちに、実はこれまでの経験や周囲の影響の方が大きいことが分かってきて、発達の特性に対する配慮というより周囲との信頼関係の構築を課題として方向転換してきたことも少なくありません。そうしたケースでは少年期に環境的に複雑で辛い経験をしてきていることもよくありました。「そのころ、彼らが心を許せる大人が近くにいてくれたら…」「彼らの保護者が抱える辛さに寄り添える誰かがいたら…」そんなことを何度も思いました。

障害はあくまでその人へ配慮を考える一つの切り口でしかないのだと思います。何よりも安心できる場所があること、そうした関係性を一緒につくっていける誰かがいることが必要なのだと思います。

どんどん時の流れは早くなって、安心できる選択肢がすぐに見つかるような世の中ではありません。だからこそ悩みや不安を抱えた子どもたちが、ちゃんと愛を感じたり、人を信じたりできる大人になれるように、保護者や関係者のみなさんと協力しながら、安心できる環境づくりのお手伝いをさせていただけたらと思います。

当センターでは子どもと保護者の悩み相談を受け付けています

四街道市青少年育成センター (月)～(金) 9:00～17:00

相談専用電話 043-423-0066 フリーダイヤル 0120-423-006

青少年育成センターへは市役所第二庁舎からも裏側通用口を利用して入ることもできます

◎ 「一期一会」は、市ホームページにも掲載してあります。青少年育成センターのページからご覧ください。

令和7年度四街道市青少年補導委員連絡協議会 第26回総会



総会の様子

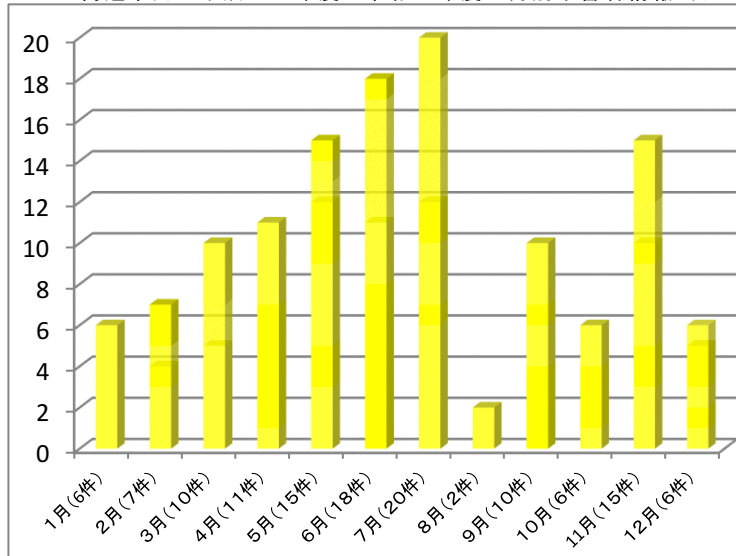


海保曉美会長挨拶

四街道市青少年補導委員連絡協議会の令和７年度第２６回総会が、来賓として四街道市教育長府川雅司様をお迎えして５月２４日（土）に開催されました。３２名の出席者で慎重審議の結果、令和６年度の活動報告、決算及び令和７年度の活動計画、予算が承認されました。人事異動等に伴い２８名の補導委員が変りましたが新たな気持ちで四街道市の青少年の健全育成のために全力投球することが確認されました。

6・7月是不審者に注意

★ 四街道市内の平成27年度～令和6年度の月別不審者情報（よめ一る発信のみ）



6月、7月は日没が遅く小中学生は外で過ごす時間が長くなります。それに伴い不審者の出没情報が多くなります。左のグラフは市内の過去10年間の月別の不審者情報です。この6月、7月の2ヶ月で全体の30%、5月を含めると42%になります。地域での見守り活動や声掛けは注意喚起や抑止力として効果的ですが、自分自身の安全は自分で守る意識や方法を身につけることが最も重要です。家の周りの地理的な特徴や人の流れ、自身の生活サイクル等を考慮してどうしたら事故事件から自分を守るのか？考えてください。

補導活動から見える風景

夕方、都市広場でたむろする少年の姿を見かけます。飲酒、喫煙の痕跡もあります。また吸い殻やペットボトル、お菓子の空袋などが捨てられています。補導活動では声かけを強化しています。1人だとなかなか声かけは勇気がいりますが、見かけましたら青少年育成センターに連絡をお願いします

○5月の相談活動 [55件]

電 話	2 6	来 所	2 9	訪問等	0
-----	-----	-----	-----	-----	---

○5月の不審者情報

不審者情報はありませんでした。引き続き地域での見守り活動をお願いします

○7月の街頭補導予定（14回）

1 日 (火) A	2 日 (水) F	3 日 (木) D	7 日 (月) C	8 日 (火) E	11 日 (金) D	14 日 (月) E
17 日 (木) B	18 日 (金) F	22 日 (火) B	23 日 (水) D	24 日 (木) C	28 日 (月) D	30 日 (水) B
A 7:30-8:30	B 10:00-11:00	C 14:30-15:30	D 16:30-17:30	E 17:30-18:30	F 18:30-19:30	

A 7:30-8:30 B 10:00-11:00 C 14:30-15:30 D 16:30-17:30 E 17:30-18:30 F 18:30-19:30